

令和3年度第2回渥美半島野生イノシシ捕獲根絶協議会 会議録

1 日時

令和3年11月24日（水） 書面開催

2 出席者

渥美半島野生イノシシ捕獲根絶協議会 構成員

3 議事

(1) イノシシ捕獲に係る取組状況について

発言者	意見・コメント	回答
豊橋市 環境保全課	幼獣の捕獲割合が令和元年度と比較すると増加しているが、これはどのような理由によるものでしょうか。	上半期は警戒心が低い幼獣が捕獲されやすいため、9月末時点では通年と比べて幼獣の割合が高くなることや、捕獲強化により成獣の個体数が減少していることが要因として考えられます。
有識者	「再び増加に転じる可能性」を踏まえ、捕獲努力が低下しないよう留意が必要と考えます。	御指摘の内容に留意し、捕獲圧の維持に努めます。

(2) 渥美半島野生イノシシ生息調査（速報）について

発言者	意見・コメント	回答
東三河農林 水産事務所 田原農業改 良普及課	補足説明の最終行で、「～捕獲を促進する必要がある」とありますが、そもそも撮影頻度が高いのに捕獲実績がない原因をどう捉えるべきでしょうか、また具体的な捕獲促進策の案はありますか。	撮影頻度が高いが捕獲実績がない区画（F10区画）については、主な捕獲従事者の体調不良により、捕獲圧が低下したためと考えられます。当該区域での捕獲体制の整備、委託捕獲の実施に取り組むことを検討しています。

(3) 効果的捕獲促進事業の実施計画について

発言者	意見・コメント	回答
有識者	対応済みかとは思いますが、指揮命令系統や安全管理などの厳格な徹底に御留意下さい。 また、経験的に、米国の野生化ブタに比べ日本のイノシシは著しく警戒心が強いと認識しております。ピッグブリッグには期待できますので、細かなノウハウの蓄積をお願いします。	御助言いただいた内容に留意し、取組を進めさせていただきます。

狩猟連合田原	捕獲等事業の実施エリアに現場の事情を把握していない作業が入るとその他の捕獲作業に支障が生じるので、注意していただきたい。	生息状況調査や捕獲業務の受託者に対し、現場に入る際はよく注意するよう周知します。
--------	--	--

(4) その他

発言者	意見・コメント	回答
豊橋市環境保全課	<p>他市の事例だと、豚熱陽性が確認されなくなったことに伴い、捕獲頭数が増加しているとのことでしたが、これは、野生イノシシ内での豚熱感染が終息に向かい、豚熱により感染死する頭数が、野生イノシシの生産頭数を下回ったため、結果的に個体数が増加した、ということでしょうか。</p> <p>また、この状況も踏まえ、渥美半島における野生イノシシが根絶に至るまで、どれくらいの期間を要するものと考えているのか、併せてご教授願います。</p>	<p>尾張北部から西三河地域で見られる野生イノシシ生息頭数の急回復傾向は、屋外における豚熱ウイルス濃度が相当低減し感染死が減ったことに加え、生息密度が下がって競合が減ったことにより、個体数が一転して増加したものと考えられます。なお、渥美半島地域では、現在までに個体数の回復傾向は見られていません。</p> <p>今後は、生息状況調査により生息密度の変化を注視するとともに、低密度下での効果的捕獲手法の検討・試行、移動防止柵の維持管理の徹底などとともに、引き続き捕獲強化に取り組み、早期に根絶状態を達成したいと考えています。</p> <p>なお、次回の協議会において、根絶に向けた取組等について議題とさせていただきます。</p>
東三河農林水産事務所 田原農業改良普及課	<p>第1回協議会の場で狩猟連合田原から「野犬対策に動物管理センターの知見を活かしてほしい」旨、質問があり、「後日回答する」との発言があったと思うが、現在の対応状況について教えていただきたい。</p> <p>資料の説明が専門的過ぎて理解するのに苦労します。細かい数値や手法の説明はもっと簡略にし、「要するにこういう状況だからこうしたい、こうしてほしい」がはっきりと伝わるようにしていただけるとよいと思います。</p>	<p>野犬に関しては、地元市関係課を始め、捕獲や豚熱の防疫に係る県の関係機関とそれぞれ情報共有しており、各機関において、捕獲等の対応が行われています。</p> <p>資料作成や説明、捕獲実施者等への周知にあたり、わかりやすい内容とするように努めます。</p>